

福山高校は三位一体でガッツリ！

福山高等学校

PTA会長

田平義人

本校のある牧之原は、古くから薩摩・大隅・日向を結ぶ交通の要衝として栄えた所です。藩の軍馬の放牧地があつたのが地名の由来だそうです。

学校は普通科と商業科があり、全校生徒152人の小規模な学校ですが、PTA・同窓会その他に後援会という組織があるのが大きな特色です。

福高の後援会とは、PTAのOBの方々や、卒業生ではないが福高を盛りあげたいと思つて集まつた方々によつて組織されたものです。これらが三位一体となつて福高のいろいろな行事に協力してもらつています。

文化祭では、PTAと

同窓会がカレー店やうどん屋を開店し、後援会が地域に声をかけて、JAYや生産者組織の協力をもらつて、野菜や海産物の販売店を出しています。

また、毎年正月には後援会と部活動生で、本校の定員数に相当する240センチメートルの大きな門松を立てるのが恒例となつています。

数年前には、生徒たちの要望を受け、バス乗り場に屋根付きの建物を作りました。そして、本年度は、この活動実績を認めてくださったバス会社によりバス停の全面改築が実現する予定です。



校門前の大門松



文化祭の様子

更に、夏休みには三つの組織が集まつてパークゴルフ大会を開催し、珍プレーに盛り上がり、その夜は懇親会の珍プレーで更に盛り上がります。

昨年は創立30周年の節目の年でもありました。それを受け、同窓会も組織を充実させ更なる体制作りを始めました。

「福山高校はPTA・同窓会・後援会の三輪で生徒のサポートはガッツリです。」

三つの組織の支援により、次の周年事業に向けて、生徒はしっかり歩を進めています。